



- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

そば打ち体験

1月23日(金)に、いずみ巣子在住で東屋さんにお勤めの立花清一様に指導していただき、6年生がそば打ち体験をしました。2学期に行う予定でしたが、インフルエンザの流行により延期していた6年生のPTA親子行事も兼ねた体験活動です。毎年そば畑を耕してくださっている南一本木自治会長の岩井雅之様と、唐箕を貸してくださった角掛利子様をお招きして打ったそばを味わう会食会も行いました。

はじめに立花様からそばの打ち方を教えていただきました。体育館改修工事のため、そば畑にはプレハブが建っていましたが、その関係もあり、今年はそばの収穫量があまり多くありませんでしたが、なんとか自分達が育て収穫したそば粉でそばづくりをすることができました。

まず、指でやさしくかき混ぜながら、そば粉全体に水がいきわたるように混ぜていきます。そば粉全体に水がいきわたったら、しっかり手の腹で練っていきます。ひびが入らないように柔らか過ぎず、かた過ぎないようにするのがポイントだそうです。その後麺棒で生地を薄く伸ばします。斜めに動かしながら四角形になるように伸ばしていきます。



十分に生地を伸ばしたら、麺切包丁で切っていきます。6年生は麺切包丁の使い方がとても上手で、グループで太さを揃えて上手に切ることができました。グループによってはお母さん方も麺切に挑戦しました。いつも食事をつくっているお母さん方でも、麺切は難しいとの感想をもたれていました。丁寧な作業でどのグループもとてもおいしそうな蕎麦が打ちあがりました。

さっそくゆでて、東屋さんのおいしいそばつゆでお蕎麦をいただきました。立花様が作ってくださった「そば豆腐」と「ばっけみそ」もいただきました。そばの実にも様々な調理のしかたがあることも学ぶことができました。



今年度の「そば博士になろう」の学習も、地域の方々のご協力により、学びの多い有意義な体験活動になりました。ご支援ご協力を感謝申し上げます。

学校保健委員会

1月22日（木）に学校保健委員会を開催しました。今年度から新たな試みとして中学校との合同開催としました。また保育園の山本園長先生にもご参加いただきました。一本木地区の園児・児童・生徒の健康課題は、保育園・小学校・中学校で共通する部分が多く、保・小・中連続した期間で考えていく必要があるという思いから、合同での開催としました。今後地域の方にも自由にご参加いただき、地域で園児・児童・生徒の健全育成を図っていくことができればと考えております。

当日は学校内科医の山口淑子先生、学校歯科医の小豆嶋章先生、学校薬剤師の戸来賢明先生、一本木保育園の山本園長先生、そしてPTA役員・理事の方々にご参加いただきました。お足元の悪い中、そして遅い時間にもかかわらずご参加いただきましたことに感謝申し上げます。

会ではまず、本校の後藤保健主事と中学校の菅原保健主事が、健康診断結果や保健指導の実際を紹介しました。そしてそこから明らかになった右記のような一本木地区の児童・生徒の健康課題について確認し、来年度の学校での取組をお伝えしました。

【一本木地区児童・生徒健康課題】

- 1 肥満傾向者の出現率が高い（特に小学校）
- 2 う歯のない人が少なく、受診率も低い
- 3 裸眼視力 1.0 未満が増加傾向にある

学校内科医の山口先生からは、大抵の人はスマホの使い過ぎはよくないことを分かっているが、小さい子は分かっていないので、親としてしっかり教えなければいけないこと、寝る時にスマホをふとん（ベッド）にもっていかせないこと、さらに、親は叱るために子どもの後ろに寄り添っているのではなく、助けるために子どもの後ろに寄り添っているのだというお話をいただきました。

学校歯科医の小豆嶋先生からは、歯のけがの対処として、欠けたり折れたりした歯は、生理食塩水もしくはコンタクトレンズの保存液や牛乳につけて病院に持ってくるとよいこと、そのようなものがない場合、頬と歯茎の間など、まるであめ玉のように口の中に保存して病院に持ってくるとよいことをアドバイスいただきました。また、学校薬剤師の戸来先生からは、スマホの安全な利用に関わって、秘匿性の高いアプリを用いた高額な報酬をうたった仕事の勧誘等、危険性の高いものがたくさんあり、若い世代が騙されないように、周りの大人がしっかりと見守る必要性があることについてお話しいただきました。

安全朝会

1月21日（水）に安全朝会を実施しました。当日はスクールガードリーダーの角掛利樹様と、一本木駐在所の山田篤志所長にお越しいただき、子ども達に冬道の安全についてお話しいただきました。寒さに加え積雪も多い週でしたので、体育館もすっかり冷え切っていましたが、子ども達はよい姿勢でお二人の話をしっかり聞いていました。

スクールガードリーダーの角掛利樹様は、毎日学校近くの交差点付近で、スクールガード犬のこまめ君と一緒に見守り活動をしてくださっています。角掛様からは、冬道は滑りやすく転倒することがあるので、帽子と手袋を着用すること、除雪した雪が山になっていて、みなさんからも車からもお互いが見えにくくなっているから、いつも以上に周りをよく見て気を付けること、そして冬道では車は急に止まることができないので、たとえ信号が青でも、車の動きをよく見て渡ることをお話しいただきました。



山田所長様からは、昨年は岩手県で交通事故がとても多く、死亡事故や人身事故も多かったこと、同じように盛岡市や滝沢市でもとても交通事故が多かったこと、そのために交通事故非常事態宣言が出されたことをお話していただきました。また、スクールガードの方々は毎日みなさんの登下校を見守っているの、その気持ちに伝えるためにも、スクールガードの方々にしっかりあいさつをしてほしいとお話していただきました。そのお話に1年生の坂本心望さんは、「気を付けることをしっかりやって、道路を渡りたい。」とお話しました。